



BarTender スタートガイド

目次

BarTender スタートガイド	3
BarTender ソフトウェアのインストール	4
BarTender のインストール	4
BarTender Print Portal のインストール	7
デザイナーおよび印刷オペレーター向け	9
新規ドキュメントの作成	9
BarTender サンプルドキュメントの使用	9
デザインへのオブジェクトの追加	10
BarTender でのデータベースの使用	11
印刷時のデータの入力	12
ドキュメントの印刷	13
管理者向け	15
BarTender Licensing Service の管理	15
BarTender System Database の設定	16
ドキュメントおよびアプリケーションセキュリティの構成	16
言語の変更	19
BarTender ファイルおよびフォルダの管理	20
アプリケーションメッセージのログ	21
電子メール警告の送信	22
関連ドキュメント	24

BarTender スタートガイド

BarTender® ソフトウェアでは、ラベル、バーコード、RFID タグ、プラスチックカードなどの作成および自動印刷と制御によって、組織の安全性、セキュリティ、効率性、およびコンプライアンスを向上させることができます。BarTender では、ラベルおよびテンプレートの簡単かつ効率的なデザイン、データソースとビジネスシステムの設定および接続に加えて、任意のシステム、オペレーティングシステム (OS) またはデバイスから印刷コマンドを起動することができるツールを利用できます。

BarTender ソフトウェアのインストール

BarTenderには、その他のデザインおよび印刷ソフトウェアパッケージでは利用できない強力な機能と柔軟性を備えたさまざまなアプリケーションが含まれています。BarTender Suiteに含まれるすべてのアプリケーションおよび機能は、ソフトウェアのインストールおよびライセンス認証を行った後に使用可能になります。



ライセンス認証されたエディションのBarTenderに含まれない機能およびアプリケーションのテストおよびプレビューを行うことができます。その場合、現在のエディションよりも高度なエディションが必要な機能を使用していることを示すメッセージが表示されます。ライセンス認証されていない機能を使用して印刷した項目には、デモモードで印刷されたことを示す透かしが印刷されます。BarTender Suiteのすべてのエディション固有の機能のリストについては、[BarTenderのWebサイト](#)を参照してください。

BarTender のインストール

BarTenderは、32ビットおよび64ビットのバージョンがあります。

- オペレーティングシステム (OS) が32ビットの場合、32ビットバージョンのBarTenderをインストールする必要があります。
- 64ビットバージョンのWindowsの場合、64ビットまたは32ビットバージョンのBarTenderをインストールする必要があります。64ビットバージョンが推奨されますが、特定のOLE DBまたはODBCデータベースドライバを使用している場合、またはソフトウェア開発キット (SDK) を使用して32ビットアプリケーションを開発する場合、32ビットエディションをインストールする必要があります。

詳細については、『32-bit and 64-bit BarTender』ホワイトペーパーを参照してください。

<https://www.bartendersoftware.com/resources/white-papers/>

BarTenderをインストールする前に、以下のアイテムを準備してください。

- 以下のいずれかのソースから入手できる製品キーコード (PKC):
 - BarTenderを購入した後に送信される電子メール(ライセンス認証およびインストール手順が含まれます)
 - BarTenderソフトウェアのWebサイト (<https://www.bartendersoftware.com/FreePKC/>) でBarTender無償版PKCをリクエストした後に送信される電子メール
 - ソフトウェアパッケージに含まれる個別の製品キーコードカード
- BarTenderソフトウェアのWebサイトからダウンロードできる正しい32ビットまたは64ビットのBarTenderインストールパッケージ: <https://portal.seagullscientific.com/downloads>

インストールする前に、必要なインストールのタイプを決定します。

- 実行する BarTender が 1 つだけの場合、一般的に BarTender Licensing Service (BLS) および BarTender は同じコンピュータにインストールされます。このタイプのインストールでは、「**BarTender および BarTender Licensing Service をインストールするには**」の手順を使用します。
- 環境内の複数のコンピュータで BarTender を実行している場合、BLS は 1 台のコンピュータにインストールされます。このコンピュータは一般的にサーバーですが、インストールされている BarTender からネットワーク経由でのアクセスが可能である必要があります。BLS を 1 台のコンピュータまたはサーバーにインストールするには、「**BarTender Licensing Service および Administration Console だけをインストールするには**」の手順を使用します。その後、別のコンピュータに BarTender をインストールする際に「**BarTender だけをインストールして既存の BarTender Licensing Service に接続するには**」の手順を使用します。
- 既定では、BarTender System Database で使用する Microsoft SQL Server Express が BarTender セットアップウィザードによってインストールされます。BarTender System Database に独自の一元的なデータベースを設定している場合、BarTender セットアップウィザードの[インストールの詳細オプション] ページで、このオプションの選択を解除して Microsoft SQL Server Express をインストールしないようにすることができます。SQL Server Express をインストールしない場合は、BarTender の初回起動時に BarTender System Database をセットアップするよう求めるプロンプトが表示されます。このときに独自のデータベースサーバーの接続設定を指定できます。接続設定は、Administration Console の[システムデータベース] ページで指定することもできます。

BarTender ソフトウェアをインストールするには、次のいずれかの手順を使用します。

BarTender および BarTender Licensing Service をインストールするには

1. BarTender のインストールパッケージをダブルクリックします。BarTender セットアップウィザードが起動します。
2. BarTender セットアップウィザードの「ようこそ」ページに表示される使用許諾契約の内容を読んで同意した後、[インストール] をクリックします。
3. [インストールの完了] ページで [完了] をクリックします。BarTender Licensing ウィザードが起動します。
4. 製品キーコードを入力して [次へ] をクリックします。
5. [Licensing Server の選択] をクリックして選択し、リストからサーバーを選択します。または、[Licensing Server の指定] をクリックして選択し、目的のサーバーおよびポートを入力します。
6. [次へ] をクリックします。
7. [BarTender のライセンス認証] ページで [ライセンス認証のヘルプ] をクリックして、[ライセンス認証について] ページを表示します (オプション)。
8. [BarTender のライセンス認証] ページで [次へ] をクリックします。
9. インストール済みの別の BarTender からこの BLS にアクセスする場合は、[ライセンス認証が正常

に完了しました] ページで [このライセンスをネットワーク上の他のコンピュータと共有する] をクリックします。

10. [次へ] をクリックします。
11. BarTender を登録する手順を完了し、[完了] をクリックしてウィザードを閉じます。

BarTender Licensing Service および Administration Console だけをインストールするには

1. BarTender のインストールパッケージをダブルクリックします。BarTender セットアップウィザードが起動します。
2. BarTender セットアップウィザードの「ようこそ」ページに表示される使用許諾契約の内容を読んで同意した後に [詳細なインストールオプションを指定する] チェックボックスをクリックして選択し、[次へ] をクリックします。
3. [Licensing Service および Administration Console のみ] をクリックして選択し、[インストール] をクリックします。
4. [インストールの完了] ページで [完了] をクリックします。BarTender Licensing ウィザードが起動します。
5. 製品キーコードを入力して [次へ] をクリックします。
6. [Licensing Server の選択] をクリックして選択し、リストからサーバーを選択します。または、[Licensing Server の指定] をクリックして選択し、目的のサーバーおよびポートを入力します。
7. [次へ] をクリックします。
8. [BarTender のライセンス認証] ページで [ライセンス認証のヘルプ] をクリックして、[ライセンス認証について] ページを表示します (オプション)。
9. [BarTender のライセンス認証] ページで [次へ] をクリックします。
10. インストール済みの別の BarTender からこの BLS にアクセスする場合は、[ライセンス認証が正常に完了しました] ページで [このライセンスをネットワーク上の他のコンピュータと共有する] をクリックします。
11. [次へ] をクリックします。
12. BarTender を登録する手順を完了し、[完了] をクリックしてウィザードを閉じます。

BarTender だけをインストールして既存の BarTender Licensing Service に接続するには

1. BarTender のインストールパッケージをダブルクリックします。BarTender セットアップウィザードが起動します。
2. BarTender セットアップウィザードの「ようこそ」ページに表示される使用許諾契約の内容を読んで同意した後に [インストール] をクリックします。使用許諾契約の内容を読んで同意した後に [詳細なインストールオプションを指定する] チェックボックスをクリックして選択して [次へ] をクリックし、[BarTender] をクリックして選択して [インストール] をクリックすることもできます。
3. [インストールの完了] ページで [完了] をクリックします。BarTender Licensing ウィザードが起動し

ます。

4. **[既存のライセンスを検索]** をクリックし、サーバーの名前または IP アドレスを入力して **[検索]** をクリックします。
5. 目的のライセンスをクリックして選択し、**[次へ]** をクリックします。
6. **[次へ]** をクリックします。
7. BarTender を登録する手順を完了し、**[完了]** をクリックしてウィザードを閉じます。

BarTender Print Portal のインストール

BarTender Print Portal は、BarTender ドキュメントの選択および印刷機能を備えたインターフェイスを提供する Web ベースのアプリケーションです。Print Portal は 1 台のサーバーで「ホスト」され、インターネット経由で別のコンピュータ、タブレット、およびモバイルデバイスからドキュメントにアクセスすることを可能にします。ユーザーは、Web サイトにアクセスして目的のドキュメントを選択するだけでドキュメントを印刷できます。

クライアントデバイスで Web ブラウザを実行できる必要があります。Print Portal は、以下のソフトウェアを実行するコンピュータでホストする必要があります。

- Microsoft インターネット インフォメーションサービス (IIS)
- ASP.NET
- BarTender

BarTender を初めてインストールするときに Print Portal をインストールするには

1. BarTender のインストールパッケージをダブルクリックします。BarTender セットアップウィザードが起動します。
2. BarTender セットアップウィザードの「ようこそ」ページに表示される使用許諾契約の内容を読んで同意した後に **[詳細なインストールオプションを指定する]** チェックボックスをクリックして選択し、**[次へ]** をクリックします。
3. **[詳細なインストールオプションを指定する]** ページで **[BarTender Designer および Print Portal]** をクリックして選択し、インストール先のフォルダを指定して **[次へ]** をクリックします。
4. ウィザードの残りのページを完了します。

BarTender の既存のインストールに Print Portal をインストールするには

1. BarTender インストールパッケージファイルをダブルクリックします。Windows の **[コントロールパネル]** で **[プログラム]** をクリックして **[プログラムのアンインストール]** をクリックして **[BarTender]** をクリックし、**[変更]** をクリックします。
2. **[ユーザーアカウント制御]** ダイアログで **[はい]** をクリックします。BarTender セットアップウィザードが起動します。
3. **[変更]** をクリックして選択し、**[次へ]** をクリックします。

4. [詳細なインストールオプションを指定する] ページで [BarTender Designer および Print Portal] をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。
5. ウィザードの残りのページを完了します。

認証の有効化


管理者は Print Portal を構成して、ユーザーが Windows アカウントを使用してログインできるようにします。認証を有効にすると、Administration Console で Print Portal の**管理者アクセス許可**を設定したユーザーだけが Print Portal 管理設定を変更できるようになります。認証は、Print Portal の[**管理設定**]を使用して有効化できます。

環境のセキュリティを強化する場合は、HTTPS を介した認証を選択できます。このプロセスでは、IIS で Print Portal の Web サイトのセキュリティ証明書と HTTPS のバインディングを構成する必要があります。詳細については、BarTender Print Portal ヘルプシステムを参照してください。

デザイナーおよび印刷オペレーター向け

デザインにおいても印刷においても、BarTender のインターフェイスは強力で、新規ユーザーが容易に操作できません。この章では、BarTender で印刷項目を作成、デザイン、および印刷するための基本的なタスクについて説明します。

新規ドキュメントの作成

BarTender の構成に応じて、[ファイル]メニューの[新規作成]またはメインツールバーの  をクリックすると、次のいずれかの処理が行われます。

- ドキュメントの新規作成ウィザードが起動します。このウィザードでは、デザイン範囲のサイズと形状を手動で指定できます。(これが既定の動作です)。
- コンピュータ上の既定プリンタの設定で定義されているサイズと形状の空白テンプレートが画面に表示されます。
- 既存のドキュメントのコピーが開きます。

画面上のデザイン範囲は、印刷対象の実際の項目の寸法と形状に一致します。これらの設定は、1 ページ上の印刷項目の数、デザインの向き、または複数の項目間のギャップのサイズなどと共にドキュメントの新規作成ウィザードまたは [ページ設定] ダイアログのいずれかを使用して定義します。



画面上の各デザイン範囲は、特定のプリンタのプリンタストックに一致するよう構成されています。プリンタまたはメディアを変更する必要がある場合、新しいプリンタまたはメディアに合わせてデザイン範囲の寸法の自動変更が試みられます。サポートされるメディアのサイズはプリンタごとに異なるので、オブジェクトの配置が印刷項目にフィットしなくなることがあります。その場合は、デザインを変更するか、[ページ設定] ダイアログを使用してページ設定を変更する必要があります。

以下のトレーニングビデオが BarTender オンライン [サポートセンター](#) で公開されています。

- [プラスチックカードドキュメントの設定 \(オンラインビデオチュートリアル\)](#)
- [サーマルラベルドキュメントの設定 \(オンラインビデオチュートリアル\)](#)
- [レーザー/インクジェットラベルドキュメントの設定 \(オンラインビデオチュートリアル\)](#)

BarTender サンプルドキュメントの使用


独自のテンプレートをデザインするのは時間がかかる場合があるので、BarTender ソフトウェアと共にインストールされるサンプルドキュメントを使用することができます。これらのドキュメントを開始ポイントとして使用し、要件に応じて変更することができます。サンプルドキュメントが目的のデザインに似ている場合、ゼロからデザインを作成する必要はありません。

BarTenderでサンプルドキュメントを表示すると、アプリケーションの多くの機能を簡単に見つけることができます。ドキュメントを読み込むと、ダイアログのさまざまな設定を検証して、どのような機能およびカスタマイズオプションが利用できるかを確認できます。




サンプルドキュメントを表示するとき、またはサンプルドキュメントを使用して独自のデザインを開始するときは、サンプルドキュメントのコピーを必ず作成しておいてください。コピーを作成することにより、編集されていないサンプルドキュメントを後で参照することができます。


サンプルドキュメントのコピーを作成するには


1. [ファイル]メニューで[新規作成]をクリックします。または、メインツールバーの  をクリックします。
2. ドキュメントの新規作成ウィザードで開始ポイントとして[ライブラリからテンプレートを選択]を選択します。
3. [選択]をクリックします。
4. 次のフォルダの場所を参照します。
\\Program Files\Seagull\BarTender 2019\Templates
5. 目的の業界またはカテゴリのフォルダをダブルクリックして、開くサンプルドキュメントを見つけます。
6. サンプルドキュメントをダブルクリックします。または、ドキュメント名をクリックして[開く]をクリックします。
7. [完了]をクリックすると、ドキュメントの新規作成ウィザードが終了し、ドキュメントのコピーがBarTenderで開きます。


デザインへのオブジェクトの追加


空白のテンプレート（またはデザイン範囲）で作業する場合、オブジェクトをテンプレートに追加して印刷項目をデザインできます。BarTenderには、次のオブジェクトの種類が含まれています。


 **バーコード:** デザイン範囲にバーコードを追加します。目的のバーコードをクリックして選択します。

 **テキスト:** デザイン範囲にテキストオブジェクトを追加します。目的の種類テキストをクリックして選択します。


 **線:** デザイン範囲に線を追加します。

 **図形:** デザイン範囲に図形を追加します。目的の図形をクリックして選択します。

 **ピクチャ:** デザイン範囲にピクチャを追加します。目的のピクチャのソースをクリックして選択します。

 **テーブル:** デザイン範囲にテーブルオブジェクトを追加します。

 **レイアウトグリッド:** デザイン範囲にレイアウトグリッドオブジェクトを追加します。

 **エンコーダ:** デザイン範囲にエンコーダオブジェクトを追加します。目的のエンコーダ技術をサポートするプリンタを追加して選択した後、目的のエンコーダオブジェクトをクリックして選択できます。エンコーダオブジェクトには、RFID (radio-frequency identification)、磁気ストリップ、およびスマートカード技術が含まれます。

これらのオブジェクトは、**オブジェクトツールバー**または**[作成]**メニューを使用して追加できます。



オブジェクトをテンプレートに追加するには

1. **オブジェクトツールバー**で追加するオブジェクトの種類アイコンをクリックします。または、**[作成]**メニューでオブジェクトの種類をクリックします。
2. サブメニューで目的のオブジェクトをクリックします。線オブジェクトの場合は、この手順をスキップします。
3. オブジェクトを追加する場所をクリックします。線オブジェクトの場合、線のエンドポイントをクリックしてドラッグします。

BarTender でのデータベースの使用

多くの場合、顧客レコードや製品情報などの情報は BarTender 外のファイル (Microsoft Excel スプレッドシート、SQL データベース、テキストファイルなど) に保存されています。このデータを BarTender で使用する場合、テンプレート上のバーコードやテキストオブジェクトに情報を直接取り込むことができます。これらの外部のデータファイルは、総称的に「データベース」と呼ばれます。このトピックでは、データベースに接続してテンプレート上のオブジェクトに情報を取り込む方法について説明します。

データベースに接続するには

1. **[ファイル]**メニューで**[データベース接続設定]**をクリックします。または、**メインツールバー**のをクリックします。次のいずれかの処理が行われます。
 - 以前にデータベースに接続したことがない場合、データベース設定ウィザードが起動します。
 - 現在、データベースに接続している場合、**[データベースの設定]**ダイアログが開きます。をクリックしてデータベース設定ウィザードを起動します。
2. データベース設定ウィザードの最初のページでデータが格納されているファイルの種類を選択して**[次へ]**をクリックします。
3. ウィザードの手順に従って、選択したファイル種類の接続設定を完了します。ウィザードの最後のページで**[完了]**をクリックすると、**[データベースの設定]**ダイアログが開きます。

データベースに接続した後、ファイルに格納されている情報をテンプレート上のバーコード、テキストオブジェクト、またはエンコーダオブジェクトに取り込むことができます。このデータを取り込む最もシンプルな方法は、**[ツールボックス]**の**[データソース]**ペインを使用して、オブジェクトをデータベースフィールドにリンクすることです。

オブジェクトをデータベースフィールドにリンクするには

1. [ツールボックス] で[データソース] タブをクリックして [データソース] ペインを表示します。
2. [データベースフィールド] ノードを展開して、接続済みのデータベース内のすべてのデータベースフィールドを表示します。
3. 目的のデータベースフィールドを目的のバーコード、テキスト、またはエンコーダオブジェクトにドラッグします。または、フィールドをテンプレートにドラッグして、フィールドにリンクされたテキストオブジェクトを作成します。

データベースファイルをドキュメントに接続し、フィールドをオブジェクトにリンクさせた後は、テンプレートデザイン範囲の下部にあるレコードナビゲーションバーを使用できます。ドキュメントと共に印刷されるレコードをテンプレートに表示するには、矢印を使用します。



[ファイル] メニューの [印刷プレビュー] をクリックしてデータを表示することもできます。

印刷時のデータの入力


テンプレート上のオブジェクトのデータが印刷時までわからない場合や使用できない場合があります。次のような例が考えられます。

- パッケージの重量を含む標準の出荷レベルを使用する際に印刷時までパッケージの重量が計測されない場合。
- 日持ちしないアイテムの製品ラベルにラベルを印刷するたびに現在の日付を印刷する場合。
- データベーステーブルに含まれているレコードのグループから印刷する特定のデータベースレコードを印刷オペレータが指定する必要がある場合。


印刷時にデータ入力フォームを使用して、項目に印刷するデータ(またはデータを特定するために使用される条件)を入力できます。

データ入力フォームにコントロールを追加するには

1. [テンプレートデザイン] ビューで、新しいテキストオブジェクトをテンプレートに追加します。
2. デザイン範囲の下部にある [フォーム 1] タブをクリックして [データ入力フォーム] ビューを開きます。
3. オブジェクトツールバーで追加するコントロールの種類アイコンをクリックします。または、[作成] メニューでコントロールの種類をクリックします。
4. サブメニューで目的のコントロールをクリックします。
5. フォーム上でコントロールを追加する場所をクリックします。
6. [ツールボックス] の [データソース] ペインで [テンプレートオブジェクトのデータソース] ノードを展開し、テンプレート上に作成したテキストオブジェクトのノードを展開します。

7. そのテンプレートオブジェクトのデータソースをデータ入力フォーム上のコントロールにドラッグします。これでテキストオブジェクトがコントロールにリンクされます。
8. メインツールバーの  をクリックして [印刷プレビュー] ウィンドウを開きます。
9. データ入力フォームが開いたら、サンプルのテキストを入力するか、コントロールのオプションを選択して [プレビュー] をクリックし、項目がどのように印刷されるかをプレビューします。
10. 印刷プレビューツールバーの [閉じる] をクリックして、[データ入力フォーム] ビューに戻ります。

印刷時にデータをフォームに入力するには

1. [ファイル] メニューで [印刷] をクリックして [印刷] ダイアログを開きます。または、メインツールバーの  をクリックします。
2. [印刷] をクリックして、ドキュメントのデータ入力フォームを表示します。
3. フォーム上のコントロールにデータを入力して [印刷] をクリックします。


ドキュメントの印刷

デザインを完了した後はドキュメントを印刷できます。運用環境の設定に応じて、BarTender のさまざまなアプリケーションから印刷できます。

BarTender Designer からドキュメントを印刷するには



画面に表示されるドキュメント用の各デザイン範囲には、特定のプリンタのプリンタストックに一致するよう構成されています。サポートされるメディアのサイズはプリンタごとに異なるので、プリンタまたはメディアを変更した場合、印刷項目上のオブジェクトの配置に影響が生じることがあります。その場合は、印刷する前に新しいプリンタおよびメディアに合わせてデザインを変更する必要がある場合があります。

1. 印刷するドキュメントを開きます。
2. [ファイル] メニューで [印刷] をクリックして [印刷] ダイアログを開きます。または、メインツールバーの  をクリックします。
3. 正しいプリンタが選択されていることを確認します。
4. データベースに接続している場合、[データベースを使用] チェックボックスが選択されていることを確認します。
5. [コピー数] に印刷する部数を入力します。データベースに接続している場合、これは印刷する項目の総数ではなく、データベース内の各レコードのコピー数です。
6. [印刷] をクリックします。

Print Station からドキュメントを印刷するには

1. Print Station を開きます。
2. 印刷するドキュメントを参照します。
3. ドキュメントを 1 回クリックします。Print Station の構成に応じて、印刷ジョブが開始するか、[ドキュメントの印刷] ダイアログが開きます。
4. プロンプトが表示されたら、使用するプリンタを選択し、印刷する部数を入力します。
5. [印刷] をクリックします。

Print Portal からドキュメントを印刷するには

1. Print Portal を開きます。
2. 印刷するドキュメントを参照します。
3. ドキュメントを 1 回クリックします。Print Portal の構成に応じて、プリンタに接続するよう求めるプロンプトが表示されることがあります。その場合、[印刷] ページが表示されるまでウィザードの手順に従います。
4. [印刷] ページで、使用するプリンタを選択して、その他の情報を入力します。
5. [印刷] をクリックします。

[印刷] をクリックすると、ドキュメントの構成に応じて次のいずれかの処理が行われます。

- 印刷ジョブがプリンタに送信される。
- データ入力フォームが開く。

管理者向け

BarTender はインストールすれば状態で完全に機能しますが、構成設定をカスタマイズして印刷環境なおでのアプリケーションの使用を最適化できます。BarTender の管理者は、ライセンスの管理、アプリケーション設定の構成、BarTender のパフォーマンスの監視、社内のニーズに合わせた BarTender のカスタマイズを行うことができます。このセクションを使用して、印刷環境に合わせて BarTender を設定するためのさまざまな管理設定を見つけてください。

BarTender Licensing Service の管理

インストールしたそれぞれの BarTender は、プリンタの使用状態を監視し、購入されている BarTender ソフトウェアのエディションに基づいてライセンスを適用する BarTender Licensing Service (BLS) と通信できる状態である必要があります。インストールされている BLS が次のいずれかの構成であることを確認してください。

- 実行している BarTender が 1 つだけの場合、BLS と BarTender は同じコンピュータにインストールされていると思われます。
- 環境内の複数のコンピュータで BarTender を実行している場合、BLS は、インストールされているすべての BarTender からネットワーク経由でアクセスできる 1 台のコンピュータ (一般的にサーバー) にインストールされています。この構成を使用して単一の BarTender をインストールすることもできます。

BarTender Licensing Service は、Administration Console の [ライセンスング] セクションのプロパティページで管理できます。使用中のプリンタの数とプリンタの使用状況にみられる傾向の追跡、BarTender で使用しないプリンタのブロック、プリンタ制限に達したときに電子メール通知を送信するかメッセージログを作成する BLS の設定などを行うことができます。複数の BLS が存在する環境では、各 BLS で使用するプリンタのグループを作成できます。

BLS の設定方法の詳細については、BarTender ヘルプシステムの「[ライセンスング](#)」セクションを参照してください。

BLS の設定を行うプロパティページにアクセスするには

1. Administration Console を開きます。
2. ナビゲーションウィンドウで [ライセンスング] ノードをクリックして [ライセンスング] ページを開きます。
3. [ライセンスング] ノードを展開して [プリンタの使用量]、[ユーザーアクティビティ]、[ライセンス設定]、および [警告の設定] ページにアクセスします。

BarTender System Database の設定

BarTender System Database は、BarTender Suite アプリケーション用の一元的なデータストレージです。BarTender System Database には、次のようなデータが格納されます。

- BarTender アプリケーションで発生したイベント (エラーメッセージや「ポップアップ」ダイアログなど)
- BarTender から送信された各印刷ジョブに関する情報 (印刷されたドキュメントやジョブの送信時間など)
- Administration Console で定義されているセキュリティチェック
- テンプレートデザインおよびプレビュー画像 (後での再印刷用)
- グローバルデータフィールド
- Librarian ファイルおよび改訂情報

BarTender をインストールすると既定の BarTender System Database が作成されます。BarTender System Database では無償の Microsoft SQL Server Express が使用されますが、10 GB のデータベースサイズ制限があります。一元化されたデータベースを複数のコンピュータで共有する場合、または容量の大きい印刷ジョブをログに記録する単一のコンピュータがある場合、独自のデータベースサーバーを使用することをお勧めします。

BarTender をインストールした後に Administration Console から BarTender System Database Setup ウィザードを実行します。このウィザードでは、一元的な System Database を作成することや、既存の一元的な System Database に接続することができます。

BarTender System Database の作成、管理、および保守に関する情報については、BarTender ヘルプシステムの「[System Database](#)」セクションを参照してください。

ドキュメントおよびアプリケーションセキュリティの構成

BarTender では、ドキュメントの保護および印刷環境の規制に役立つ多くのセキュリティ対策を使用できます。BarTender のセキュリティは、シンプルなおドキュメント保護から複雑なユーザーアクセス許可システムまで広範囲で高度なカスタマイズが可能です。環境に最適な方法を決定する際は、『[BarTender System Security](#)』ホワイトペーパーに記載されている使用可能なすべてのセキュリティ対策の包括的な説明を参照してください。

<https://www.bartendersoftware.com/resources/white-papers/>

すべての BarTender セキュリティ設定は、次のいずれかのカテゴリに分類されます。

- **アプリケーションレベルのセキュリティ:** アプリケーションとしての BarTender の実行および管理に関するユーザーのアクセス許可を制限します。たとえば、印刷専用のパスワードを適用する際、BarTender 内の各ドキュメントを変更できるユーザーを制限できます。
- **ドキュメントレベルのセキュリティ:** 単一のドキュメントにのみ適用されます。これらのセキュリティ設定はドキュメントと共に保存されるので、ドキュメントを別のコンピュータに移動してもドキュメントのセキュリティ設定には影響しません。このセキュリティの例には、ドキュメントパスワードの定義やドキュメントの暗号化があります。

アプリケーションレベルのセキュリティ

以下のアプリケーションレベルのセキュリティが使用可能です。

- **印刷専用パスワード:**印刷専用パスワードを使用すると、BarTender のデザイン機能にアクセスする際にパスワードが必要になります。これは、最もすばやく設定できるセキュリティですが、最も容易に破られる可能性があります。

印刷専用パスワードを設定するには

1. [管理]メニューで[印刷専用パスワードの設定]をクリックして[印刷専用パスワードの設定]ダイアログを開きます。
 2. パスワードを入力し、同じパスワードを再度入力します。
 3. [OK]をクリックします。
- **ユーザー許可:**管理者は BarTender の支援アプリケーションである Administration Console を使用して、BarTender Suite のさまざまな操作に対するユーザーアクセスを制御できます。BarTender の場合、管理者は、ユーザーからの構成変更、ドキュメントの変更、および印刷を禁止することができます。

Administration Console を使用してアクセス許可を割り当てるには

1. Administration Console を開きます。
2. ナビゲーションウィンドウで[セキュリティ]をクリックします。
3. [このコンピュータのセキュリティを有効化]チェックボックスをクリックして選択します (まだ選択されていない場合)。
4. ナビゲーションウィンドウで[ユーザー許可]をクリックして[ユーザー許可]ページを開きます。
5. [ユーザーおよびグループ]ペインの下部にある[追加]をクリックして[ユーザーまたはグループの追加]ダイアログを開きます。
6. 追加するユーザーまたはグループを選択します。場所を選択するか、検索条件 (ユーザー名やグループ名など)を入力することによって、リスト内のユーザーおよびグループをフィルタできます。
7. [OK]をクリックして[ユーザーまたはグループの追加]ダイアログを閉じます。
8. [ユーザーおよびグループ]ペインで、新しく追加したユーザーまたはグループを選択し、許可または拒否するアクセス許可のチェックボックスをクリックして選択します。
9. [適用]をクリックして設定を適用します。[OK]をクリックすると、設定が適用されて Administration Console が閉じます。

ドキュメントレベルのセキュリティ

以下のドキュメントレベルのセキュリティが使用可能です。

- **BarTender ドキュメントパスワード**: BarTender ドキュメントパスワードを使用すると、ドキュメントを保護できます。保護対象の操作には、ドキュメントを開く操作、デザインの変更、VBScript の変更などがあります。



ドキュメントパスワードを忘れた場合、ドキュメントパスワードを復元することはできません。したがって、ドキュメントにドキュメントパスワードを設定した後にパスワードを忘れた場合、そのドキュメントを再び使用することができなくなります。

BarTender ドキュメントパスワードを設定するには

1. パスワードで保護する BarTender ドキュメントを開きます。
 2. [ファイル] メニューの [BarTender ドキュメントのパスワード] をクリックして [BarTender ドキュメントのパスワード] ダイアログを開きます。
 3. パスワードを入力し、同じパスワードを再度入力します。パスワードのヒントを指定することもできます (オプション)。
 4. [保護されたアクション] で、保護する操作のチェックボックスをクリックして選択します。
 5. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。
- **ドキュメントの暗号化**: Administration Console でドキュメントの暗号化を有効にすると、管理者は不正なユーザーが暗号化されたドキュメントをセキュリティで保護されていないコンピュータで開くことを防止できます。暗号化されたドキュメントは別のコンピュータに移動した場合、そのドキュメントを開くには、そのコンピュータに Administration Console がインストールされていて、ドキュメントの暗号化に使用したものと同一キーが定義されている必要があります。

暗号化キーを作成するには

1. Administration Console を開きます。
2. ナビゲーションウィンドウで [セキュリティ] をクリックします。
3. [このコンピュータのセキュリティを有効化] チェックボックスをクリックして選択します (まだ選択されていない場合)。
4. ナビゲーションウィンドウで [ドキュメントの暗号化] をクリックして [ドキュメントの暗号化] ページを開きます。
5. [追加] をクリックしてキーを入力します。キーに関連付けるコメントを入力します (オプション)。
6. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

7. BarTender で保存するすべてのドキュメントを自動的に暗号化するには、[保存時に文書を暗号化] チェックボックスをクリックして選択します。
8. [適用] をクリックして設定を適用します。[OK] をクリックすると、設定が適用されて Administration Console が閉じます。

既存のドキュメントを暗号化するには

1. Administration Console を開きます。
2. ナビゲーションウィンドウで [セキュリティ] をクリックします。
3. [このコンピュータのセキュリティを有効化] チェックボックスをクリックして選択します (まだ選択されていない場合)。
4. ナビゲーションウィンドウで [ドキュメントの暗号化] をクリックして [ドキュメントの暗号化] ページを開きます。
5. [ドキュメントの暗号化] ページの下部にある [ドキュメントの暗号化] リンクをクリックして [BarTender Document Encryptor] ダイアログを開きます。
6. [追加] をクリックして Windows エクスプローラを開きます。
7. 目的のドキュメントをクリックし、[開く] をクリックします。
8. [BarTender ドキュメント] ペインで、暗号化するドキュメントを選択します。
9. [新しいキー] リストで目的の暗号化キーを選択します。
10. [新しいキーを使用して、選択したドキュメントを暗号化] をクリックします。
11. [閉じる] をクリックして [Document Encryptor] ダイアログを閉じます。
12. [適用] をクリックして設定を適用します。[OK] をクリックすると、設定が適用されて Administration Console が閉じます。

言語の変更

BarTender は 20 以上の言語で使用可能で、以下の言語でユーザーインターフェイスをオンデマンドで切り替えることができます。

中国語 (簡体および繁体)、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語 (ヨーロッパおよびブラジル)、ロシア、スペイン語、スウェーデン語、タイ語、トルコ語

ユーザーインターフェイスの言語を変更するには

1. [ツール]メニューで[ユーザーの基本設定]をクリックして[ユーザーの基本設定]ダイアログを開きます。
2. [地域設定]タブをクリックします。
3. [言語]リストで目的の言語を選択します。
4. [OK]をクリックして設定を適用してダイアログを閉じます。

BarTender ファイルおよびフォルダの管理

管理者は、BarTender でアプリケーション固有のファイルを保存する場所を指定できます。BarTender でドキュメント、画像、スクリプトを保存および取得する既定のディレクトリを設定することもできます。これらの場所 (ローカルコンピュータ、ネットワーク上、または Librarian 内) は、Administration Console の [ファイルの保存場所] ページで定義します。

既定のファイルの保存場所を設定するには

1. Administration Console を開きます。
2. ナビゲーションウィンドウで [ファイルの保存場所] ノードをクリックして [ファイルの保存場所] ページを開きます。
3. 設定するフォルダまたはファイルの保存場所を選択します。
4. [場所変更] をクリックします。
5. [フォルダの参照] ダイアログで、BarTender でファイルの保存と取得を行うディレクトリを参照します。設定ファイルの場合、設定ファイルのファイル名も入力します。
6. [OK] をクリックして [フォルダの参照] ダイアログを閉じます。
7. [適用] をクリックして設定を適用します。[OK] をクリックすると、設定が適用されて Administration Console が閉じます。

定義したすべての場所は、インストールされている複数の BarTender インスタンス間で転送できます。現在定義されている場所を XML ファイルに保存するには、[設定のエクスポート] を選択して目的のエクスポート先を指定します。保存した XML ファイルは、別の BarTender インスタンスで [設定のインポート] オプションを使用して読み込むことができます。

Librarian の使用

Librarian を使用すれば、さまざまなハードドライブにファイルを分散的に保存するのではなく、一元的なデータベースにファイルを保存できるので、ファイルの追跡と管理が容易になります。ファイルのチェックインおよびチェックアウト処理が行われるので、別のユーザーが変更内容を上書きすることが防止されます。改訂制御を使用して、1 つのファイルに対して行われたすべての変更のコピーを保持できるので、どの変更がどのユーザーによっていつ行われたかという履歴を参照できるだけでなく、以前のバージョンのコピーを取得することや、必要に応じて古いバージョンにロールバックすることも

できます。Librarian 内のファイルにアクセスできるユーザーおよびユーザーに許可する操作は、Administration Console のセキュリティ設定で制御できます。

詳細については、BarTender ヘルプシステムの「[Librarian](#)」セクションを参照してください。

アプリケーションメッセージのログ

BarTender を使用しているとき、情報、警告、またはエラーに関するアプリケーションメッセージが表示されることがあります。これらのメッセージは、BarTender System Database およびテキストファイルにログとして記録できます。メッセージの例としては、次のようなものがあります。

ドキュメント [documentName.btw] の変更を保存しますか?

シリアル化に設定されているデータソースがありません
シリアル化されたテンプレートが多数指定されていますが、シリアル化に設定されているオブジェクトのデータソースがありません。オブジェクトのシリアル化を有効化するには [オブジェクトのプロパティ] ダイアログを参照してください。

このプリンタは、このドキュメントで指定された用紙サイズをサポートしていません。用紙サイズ設定を調整するまで印刷することはできません。
用紙サイズ設定を自動的に調整するには、指定された用紙サイズに一番近い設定を選択してください。この設定は、後で [ページ設定] ダイアログから手動で行うこともできます。

一部のメッセージは単に情報を示すものですが、ドキュメントに何らかの変更を加える必要のあるメッセージもあります。メッセージをログに記録すると、メッセージに関連する情報 (メッセージが表示された時間、ユーザーの対応、メッセージの重大度、および使用コンピュータなど) も保存されます。ログは後で表示および監査して、BarTender のパフォーマンスを評価することや、アプリケーション内での一般的なユーザーエラーを識別することができます。

アプリケーションメッセージを BarTender System Database に記録するには

1. [管理] メニューで [ログの設定] をクリックして [ログの設定] ダイアログを開きます。
2. [System Database にメッセージを記録] チェックボックスをクリックして選択します。
3. [重大度] リストでログに記録するメッセージの重大度レベルをクリックして選択します。
 - ログに記録するメッセージを手動で選択するには、[重大度] リストの [カスタム] をクリックし、[選択] をクリックして [メッセージの選択] ダイアログを開きます。目的のメッセージのチェックボックスをクリックして選択し、[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。
4. [OK] をクリックして [ログの設定] ダイアログを閉じます。

BarTender System Database に記録されたすべてのメッセージは、BarTender Suite に含まれる支援アプリケーションである History Explorer を使用して表示できます。

アプリケーションメッセージをテキストファイルに記録するには

1. [管理] メニューで [ログの設定] をクリックして [ログの設定] ダイアログを開きます。
2. [テキストファイルにメッセージをログする] チェックボックスをクリックして選択します。

3. [設定] をクリックして [テキストファイルのログメッセージの設定] ダイアログを開きます。
4. ログファイルを保存するフォルダの場所を [ログファイルのフォルダ] フィールドに入力して指定します。 [参照] をクリックしてフォルダの場所を選択することもできます。
5. ログに記録するメッセージを手動で選択するには、 [選択] をクリックして [メッセージの選択] ダイアログを開きます。 目的のメッセージのチェックボックスをクリックして選択し、 [OK] をクリックして [テキストファイルのログメッセージの設定] ダイアログに戻ります。
6. [OK] をクリックして [テキストファイルのログメッセージの設定] ダイアログを閉じます。
7. [OK] をクリックして [ログの設定] ダイアログを閉じます。

メッセージのログは、 [テキストファイルのログメッセージの設定] ダイアログを使用するか、ログファイルが保存されている場所を参照することによっていつでも表示できます。

電子メール警告の送信

BarTender でエラー、警告、および情報メッセージが生成されたときに電子メール警告メッセージが送信されるよう設定できます。 電子メールメッセージには以下の情報が含まれます。

- 日付
- 時間
- メッセージ番号
- メッセージの種類
- メッセージカテゴリ
- メッセージへの応答
- メッセージ本文

これらの警告を設定するとき、次のいずれかの配信形式を指定できます。

- **テキストレポート:** 各メッセージセクションは個別の行として表示されます。
- **タブ区切り:** 各メッセージセクションはタブ文字で区切られます。
- **コンマ区切り:** 各メッセージセクションはコンマで区切られます。
- **引用符とコンマ区切り:** 各メッセージセクションが引用符で囲まれ、コンマで区切られます。

警告を受信するには、 [警告の設定] ダイアログを使用して、送信メールサーバーを設定し、受信者を指定します。

電子メール警告を設定するには

1. [管理] メニューで [警告の設定] をクリックして [警告の設定] ダイアログを開きます。
2. [電子メール] タブで [電子メールを有効にする] チェックボックスをクリックして選択します。

3. [メールシステム] でメッセージの送信に使用する電子メールプロトコルを選択します。
4. [設定] をクリックして送信メールサーバーを設定して資格情報を入力します。その後に[OK] をクリックして[警告の設定] ダイアログをクリックします。
5. [宛先] フィールドに受信者の電子メールアドレスを入力します。複数のアドレスを入力する場合は、セミコロンで区切ります。
6. [出力種類] で目的の配信形式を選択します。
7. 通知をトリガーするメッセージを手動で選択するには、[メッセージの選択] をクリックして[メッセージの選択: Eメール警告] ダイアログを開きます。
8. 通知をトリガーするメッセージをクリックして選択します。その後に[OK] をクリックして[警告の設定] ダイアログに戻ります。
9. [OK] をクリックして[警告の設定] ダイアログを閉じます。

関連ドキュメント

- BarTender ソフトウェアの Web サイト
<https://www.bartendersoftware.com>
- BarTender サポートセンター
<https://support.seagullscientific.com>
- BarTender オンラインヘルプシステム
<http://help.seagullscientific.com>
- BarTender のホワイトペーパー
<https://www.bartendersoftware.com/resources/white-papers/>

